



令和4年9月16日 発行

第 83 号

浄土真宗本願寺派
 山陰教区 神門組
 発行者 鈴木 二郎
 TEL 0853②1570
 FAX 0853③3953



慶讃法要 神門組団体参拝

令和5年4月12日～13日(1泊2日)募集中

いよいよ来年(令和五年)には、宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年を、また、その翌年(令和六年)には立教開宗八〇〇年をお迎えすることになります。宗門ではこのための親鸞聖人御誕生八五〇年立教開宗八〇〇年慶讃法要について令和元年八月、趣意書が出されました。その一部は次の通りです。

『ものごとを自己中心的にしか考えられない私たちがこの世を生きたことは苦惱そのものです。その苦悩を超えて生きていく道を教えてくださるのが仏法です。阿弥陀仏は私たちに「どんなに孤独で苦しく悲しくとも、私はあなた方一人ひとりをも、そのままに受けとめて、決して見放さない」との救いのメッセージを「南無阿弥陀仏」という名に込めて、よび続けておられます。そのメッセージをそのままに領き受けとめることが、私たちに届けられた真実信心となり、どのような状況におかれようと揺らぐことのない尊い安心を頂くことになるのです。それこそが、さまざまな苦悩にも向きあっている生きているのできる依りどころとなります。そういう阿弥陀仏から頂いている御恩への感謝の言葉がお念仏であり、その救いの在り方を、念仏者の生き方として私たちにわかりやすく、しかも体系立てて説き示してくださったということが、浄土

真宗にとって親鸞聖人による「立教開宗」の意義であります。(中略)

およそ八〇〇年前、親鸞聖人は、自己の在り方を深く省みて、私たち人間とは自己中心的な思い、煩惱からいかにしても抜け出ることのできない存在であると気づかれました。しかし、そういう煩惱に突き動かされる私たち誰にも、誰ひとり取り残すことなく尊い安心を与えようとはたらき続けている阿弥陀仏の願いに出遇われたのでした。そのことを身を以て私たちの生き方として示してください。それが親鸞聖人です。その親鸞聖人の説き示してください。浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得なかったという聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝する慶讃法要をお勤めするのです。(後略)

神門組では、令和五年四月十三日午前にお勤めされる慶讃法要にあら団体参拝を計画いたしました。旅程は、令和五年四月十二日(水)から十三日(木)の一泊二日です。(詳細はチラシをご覧ください。)

募集人員は、百四十名(バス四台)ですが、定員になり次第締め切りますので、参加希望の方は、早めに所属寺院とご相談願います。

親鸞聖人七百五十回大遠忌法要 西楽寺第二十三世住職継職奉告法要 境内地改修記念法要 を終えて

西楽寺第二十三世住職 松田 周道



この度、西楽寺第二十三代の住職を継承し、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要、境内地

もまだまだ分からないことも多く不安ではありますが、継職法要でいただいた組内寺院の皆様や門信徒の皆様からの期待に応えるべく、住職として恥じないよう精進してまいります。

改修記念法要に併せ、五月二十八日に当山本堂、阿弥陀如来の御前にて、住職継職奉告法要をお勤めいたしました。当日は天候にも恵まれ、稚児行列をはじめ、法要、記念法話、式典と滞りなく無事に終えることができましたことご報告いたします。

法要を迎えるにあたって、西念寺様、浄眼寺様、常念仏様には、準備から当日の進行まで大変お世話になり、また組内近隣のご寺院様にはご出勤いただき、他にも多くのお祝いのお言葉をいただきましたこと感謝申し上げます。

また、多くの門信徒の皆様のご協力のおかげにより法要を勤めることができ、改めてその思いと力強さに感謝と驚きを感じたことであります。

昨年四月に京都より帰山し一年が経過しましたが、組内や当山のこと



親鸞聖人750回大遠忌法要 西楽寺第23世住職継職奉告法要 令和4年5月28日

そして、これまで西楽寺を支えてきた前住職、前坊守をはじめ、多くの先人の方々の思いを受け継ぎ、伝統を守りつつ、日々変化する現代社会にも対応できる寺院をめざし、門信徒の皆様と共に歩みを進めていきたいと思えます。若輩者ではございますが、ご指導の程、何卒よろしくお願いいたします。

合掌

退任のご挨拶

西楽寺第二十二世住職 松田 周邦



昭和五十二年に住職を拝命してから今日に至るまで、組内はもちろん近隣各地の御法中、門信徒の皆様のご支援、ご協力を頂きながら、約四十五年間西楽寺の住職を務めさせて頂きました。今年の五月に住職を退任いたしました。

本日に永い間有難うございました。いろいろな出来事を走馬灯のように思い出しますが、中でも忘れることが出来ない事があります。平成五年に本堂屋根替え、客殿新築の工事が終わり、翌六年に落慶法要を勤修しようとした朝の事でした。

た。法要実行委員長のN氏との会話です。私が「おかげさまで全部綺麗にして頂き、もうどこも直すところはありません。本当に有難うございました。」と言うと、N氏が「そうですね。後は住職が代わるだけです。ね。」と一言。そのN氏も今は浄土より、「やつと代わったか」とほほ笑んでおられることでしょう。南無阿弥陀仏。

合掌

法要を終えて

西楽寺門徒総代 古川 精次

可愛く着飾った子供たちの稚児行列が参道に入ってゆく。先頭に会奉行、門徒役員、そしてご法中の方々、稚児たちが続く。参道の両側の笑顔に晴れがましい気持ちで山門をくぐる。紙ぶぶきの華が散る。一行が本堂前に到着した。稚児たちの明るい姿が晴天の境内を華やかにしてくれる…。

五月二十八日、私たち西楽寺にとって大きな法要が勤まりました。特に住職継職法要は、お寺にとって一大イベントであります。かねてから新型コロナウイルスの感染対策、また、当日の天候も心配しておりましたが、当日は爽やかな好天のなか勤まりました。



緊張が高まる中、雅龍会の楽の音とともに法要は始まりました。読経の続く中ふと思いを巡らせました。この良き日を迎えられたのも、当西楽寺歴代のご住職様、坊守様のためまぬご尽力のたまものであり、また、神門組内のご寺院様、門信徒の方々にご協力いただいたおかげと感謝するものでした。

記念法話では、芦屋市 西法寺 上原大信師をお招きし、ユーモアの中にも感慨深い法話を聴聞することが

できました。

今日の日のためにご尽力いただいた邦遊会、仏教婦人会の皆様へ感謝し、盛大に勤まった記念法要に、あらためて門徒総代として新任職を助け、自らの聴聞により努めねばと胸に秘めたことでした。

合掌

神門組総代会 会長に就任して

光林寺門徒総代 神田 進



このたび、私こと、前総代会会長樋野宏文様を始めとする役員方々のご推挙により、神門組総代会会長の大役を仰せつかりました。

もとより浅学非才の身の上、至らぬ者ではございますが、皆様方のお力添えをいただき重責を務めさせていただきます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、我々を取り巻く世の中は少子高齢化という大波の中にあり、あらゆる組織活動、私たち門徒総代としての任務のみならず、地域における様々な活動など多岐に渡り非常に厳しい状況となっております。さらに

は新型コロナウイルス禍が追い打ちをかけ、葬儀や法事などの仏事の変化、またご寺院での法座の参拝者の減少など、先の見えない状況が続いております。

そのような厳しい状況の下、我々門徒総代はどのように考え、どのように行動したらよいのでしょうか。

それには、先ず自らが積極的に聞法し仏法を広める努力をすることによって、門徒としての姿勢を確立しなければなりません。同時に、多くの人々が聞法・伝道に参加できるよう配慮することも門徒総代の重要なつとめでありましょう。

宗門法規の上では、門徒総代は「住職及び代表役員を補佐して、その諮問に応じ意見を具申するもの」となっております。寺則の定めるところに従って職務を行い、「住職を補佐して寺門の護持発展に努めること」と定められています。

一人一人の力は微力ではありますが、複数の門徒総代が結集して聞法、伝道、寺院護持に関わっていけば必ずと道は拓けていくものです。今一度原点に立ち返って我々がなすべきことを真摯に考え、寺門興隆に汗をかこうではありませんか。

どうぞ皆様方には、一層のご指導ご鞭撻をお願いし、会長就任の挨拶といたします。

合掌

神門組実践委員会 フードバンク活動(報告)

令和4年8月26日実施

神門組では第四期実践運動の重点プロジェクトとして「フードバンク活動への協力」を行っており、今年も組内寺院の皆様へ協力をお願いしましたところ、多くの食品・生活用品等が寄せられ、出雲市社会福祉協議会にお届けしました。皆様方の協力に感謝致します。



お悔み

慶正寺(湖陵町)住職 三谷 暁演師が、令和四年三月二十七日、八十九歳でご往生になりました。

ご生前のご苦勞を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要と 京都南座特別公演「若き日の親鸞」の旅神門組参拝団

旅行実施日 (令和5年) **4月12日(水)~13日(木)**

旅行代金 (大人お一人様) **46,000円** 1泊2日 ※但し、旅行代金に御本山懇志、本山での集合写真代を含みます。

食事付(朝1回・昼2回・夕1回)・観光入場料含む・添乗員同行

コース(貸切バス利用)

1	神門組各地	最寄IC	(山陰道・米子・中国道)	箕谷IC
	神戸・萬壽殿(昼食)	11:30	12:30	生田川IC
	鴨川西IC	14:00	*14:30開演~17:00	17:30
	亀岡IC	湯の花温泉(宿泊)	18:30頃	
2	ホテル	本願寺 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要(団体参拝)	8:30	9:30
	八つ橋庵とししゅう館(昼食)	12:20	13:20	14:00
	京都南IC	(名神・中国道)	(米子・山陰道)	
	最寄IC	神門組各地	19:00~19:30頃	



(イメージ写真提供: 御本山)

申込方法 下記申込書にご記入の上、申込金(10,000円)を添えてお申し込みください。残金は令和5年1月31日(火)までにご納入ください。

申込締切日 (令和4年) **12月10日(土)**

募集人員 **140名様** (最少催行人員35名様)

定員になり次第締め切りますので
お早めにお申し込みください。

◆ 報恩講のご案内

新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止する場合があります。

中央部			
今市	明顕寺	10月17日・18日	2時より
塩治	長楽寺	10月21日・22日	2時より
白枝	願楽寺	10月25日	2時より
大津	光明寺	休座	
下古志	正蓮寺	11月5日	2時より
今市	西楽寺	11月8日	2時より
矢野	長泉寺	休座	
白枝	真宗寺	11月24日・25日	1時30分より
東部			
上津	善福寺	11月13日	1時30分より
上津	西園寺	11月18日	1時30分より
船津	正善寺	11月24日	2時より
稗原	正応寺	11月23日	1時30分より
所原	東林寺	11月20日	2時より
所原	西念寺	R5.4月22日・23日	1時30分より

西部			
大池	慶正寺	11月3日	1時30分より
神門	浄眼寺	休座	
口田儀	清龍寺	11月15日	1時30分より
奥田儀	能正寺	11月18日	1時30分より
差海	観音寺	11月19日	2時より
江南	西蓮寺	11月23日	2時より
神門	願勝寺	10月29日	2時より
久村	西楽寺	11月13日	2時より
南部			
山口	西善寺	10月29日	1時より
窪田	明円寺	11月23日	1時30分より
山口	光林寺	11月23日	1時より
窪田	明教寺	11月27日	1時30分より
北部			
荒木	明源寺	休座	
大社	乗光寺	11月27日・28日	27日 2時より 28日 10時より
大社	願立寺	11月28日・29日	28日 1時30分より 29日 10時より
荒木	知西寺	12月4日	1時30分より

※9月16日現在の予定です。
お誘いあわせお参りください。